事業名	一般国道 4 1 号 大沢野拡幅
事業主体	北陸地方整備局

●事業の効果や必要性の評価評価に対応する事後評価項目

政	文策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑な モビリティの 確保	● 現道等の年間渋滞損失時間 (人・時間) 及び削減率	区間b(当該区間/平行区間)について:(現道区間) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間:約41万人・時間/年 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率:8%削減
		● 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満であった区間の旅行速度の改善状況	該当なし
		● 現道又は並行区間等における踏切道の除却もしくは交通改善の状況	該当なし
		● 当該路線の整備によるパス路線の利便性向上の状況	富山駅前~笹津方面の路線バス 所要時間が約2分短縮
		● 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上の状況	対象駅: 富山駅、対象自治体名:大沢野総合行政センター(旧大沢野町)、改善見込み(大沢野総合行政センター~富山駅、32分⇒30分)
		● 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上の状況	対象空港:富山空港、対象自治体名:大沢野総合行政センター(旧大沢野町)、改善見込み(大沢野総合行政センター ~富山空港、17分⇒15分)
	物流効率化 の支援	● 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上の状況	該当なし
		● 農林水産業を主体とする地域における農林水産品の流通の利便性向上の状況	該当なし
		□ 現道等における総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間が解消	該当なし
	都市の再生	● 都市再生プロジェクトの支援に関する効果	該当なし
		● 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路が形成(又は一部形成)されたことによる効果	該当なし
		● 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携に関する効果	該当なし
		● 中心市街地内で行われたことによる効果	該当なし
	都市の再生	□ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km ² 以下である市街地内での事業である	該当なし
		□ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上	該当なし
		□ 対象区間が事業実施前に連絡道路がなかった住宅宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100 戸以上又は5ha以上)への連絡道路となった	該当なし
1. 活力	国土・地域 ネットワーク の構築	□ 高速自動車国道と並行する自専道 (A'路線) としての位置づけあり	該当なし
	,,,,,,	□ 地域高規格道路の位置づけあり	該当なし

	□ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	該当なし
	□ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	該当なし
	□ 現道等における交通不能区間が解消	該当なし
	□ 現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消	該当なし
	● 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上の状況	対象自治体名(地区名):大沢野総合行政センター(旧大沢野町)、日常活動圏中心都市:富山市、改善見込み(30分⇒28分)
個性ある 地域の形成	● 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されていた地区の一体的発展への寄与の状況	該当なし
	● 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントの支援に関する効果	関連する計画・構想等の名称等:2000年富山国体のアクセス道路として支援
	● 主要な観光地へのアクセス向上による効果	該当なし
	● 特別立法に基づく事業としての効果	該当なし
	● 新規整備の公共公益施設と直結されたことによる効果	新規整備の公共公益施設名:富山県総合運動公園
	歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボル的な道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業としての効果	該当なし
歩行者・自転車 のための生活 空間の形成	● 自転車利用空間が整備されたことによる当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性向上の状況	該当なし
	□ 交通パリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにパリアフリー化された	該当なし
無電柱化に よる美しい 町並みの形成	ロ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけあり	該当なし
	□ 市街地又は歴史景観地区 (歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区) 等の幹線道路において 新たに無電柱化を達成	該当なし
安全で 安心できる くらしの確保	● 三次医療施設へのアクセス向上の状況	対象となる三次医療施設名称:富山県立中央病院、アクセス向上が見込まれる自治体名(地区名):大沢野総合行政センター(旧大沢野町)(36分→34分)
安全な生活 環境の確保	● 現道等における交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等による安全性向上の状況	該当なし
	● 歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置されたことによる安全性向上の状況	該当なし
災害への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落が解消	該当なし
	対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置 ■ づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線(以下「緊急輸送道路」という)として位置づけあり	計画名:富山県地域防災計画、計画における位置づけ:第一次緊急通行確保路線
	□ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成	該当なし
	□ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能	該当なし
	□ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消	該当なし
	□ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間が解消	該当なし
	□ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加	該当なし

		□ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消	該当なし
		□ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯として機能	該当なし
4. 環境	地球環境の 保全	● 対象道路の整備により、削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量:977t/年
	生活環境の 改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	評価対象区間(現道/平行区間等): (現道区間) 排出削減量: 6. 4 t / 年、排出削減率:約4割削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	評価対象区間(現道/平行区間等): (区間名) 排出削減量: 0. 6t/年、排出削減率:約4割削減
		● 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過していた区間の騒音レベルの改善の状況	該当なし
		● その他、環境や景観上の効果	該当なし
	他のプロジェクト との関係	□ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	該当なし
		● 関連する大規模道路事業との一体的整備の必要性または一体的整備による効果	該当なし
		● 他機関との連携プログラムに関する効果	該当なし
	その他	● その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果	該当なし

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道41号	大沢野拡幅	L=2.1Km	二次改築	現道拡幅

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
26,700~37,500	4	北陸地方整備局

①費用

	改築費	維持修繕費	合 計
基 準 年		平成19年度	
単純合計	118億円	25億円	143億円
基準年における 現在価値(C)	166億円	17億円	183億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年		平成1	19年度	
供用年	平成12年度			
単年便益 (初年便益)	15億円	0.50億円	0.40億円	15億円
基準年における 現在価値(B)	418億円	13億円	11億円	442億円

③ 結 果

費用便益比(B/C)	2.4

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名:一般国道41号大沢野拡幅

(推計時点 H42年)

				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・	改築道路	交通量	[台/日]	20, 700	33, 600
帽	号大沢野拡 副	走行時間	[分]	5	3
: 2.	. 1km	走行時間費用	[億円/年]	25. 7	27. 5
	①一) 笹	交通量	[台/日]	8, 000	6, 000
	津安養寺 線	走行時間	[分]	9	8
	: 5.2km	走行時間費用	[億円/年]	18. 2	12. 7
	②主)富 山八尾線 : 3.4km	交通量	[台/日]	11, 700	9, 500
		走行時間	[分]	6	5
②主な周		走行時間費用	[億円/年]	18. 0	13. 8
辺道路	③主)富山笹津線	交通量	[台/日]	11, 300	8, 900
		走行時間	[分]	3	3
	: 1.6km	走行時間費用	[億円/年]	9. 0	6. 4
	④一)東	交通量	[台/日]	5, 900	5, 500
	猪谷富山 線	走行時間	[分]	7	7
	:3.9km	走行時間費用	[億円/年]	11.4	10. 4
	:道路合計 2.3km	走行時間費用	[億円/年]	1, 311. 4	1, 307. 2

			走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益
			整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)
合計: 438.54	m 走行時間短縮便	益 [億円/年]	1, 393. 8	1, 378. 1	15. 7

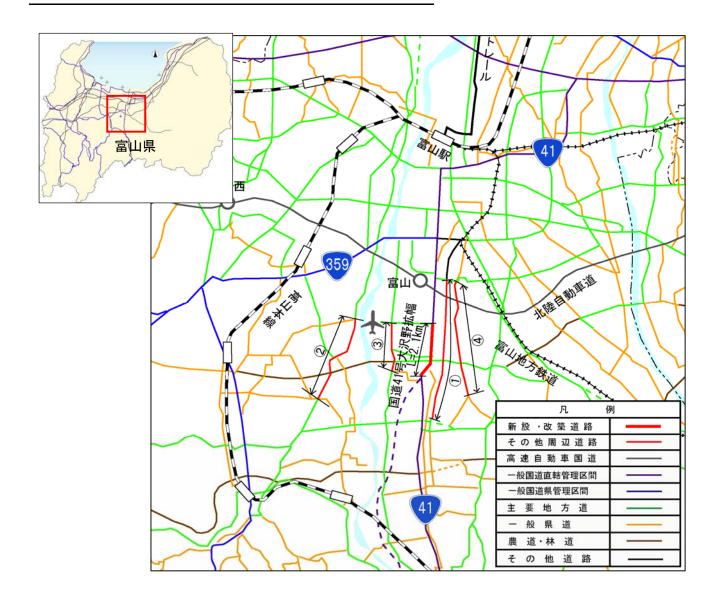
※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。



費用便益分析の条件

事業名:一般国道41号 大沢野拡幅

(2)

		項目	チェック欄
		費用便益分析マニュアル	
		(平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	
	算出マニュアル	その他	
		分析対象期間	40年間
		社会的割引率	4%
5	分析の基本的事項	基準年次	平成19年
	交通流の	1時点のみ推計	■ (H42)
	推計時点	複数時点での推計	
		整備の有無それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無のいずれかのみ推計	□有 □無
		道路交通センサスをベースとした自動車OD表	
		(三段階推定法)	(H11センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表	П
	推計に用いた	(四段階推定法)	□
	OD表	その他()	
交		無	
通		有	
流		考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
推	開発交通量の	考慮した理由を記載	
計	考慮	有の場合のみ	
		Q-V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	
		簡易手法	
		小規模事業である	
		簡易手法の 山間部海岸部で併行道路が少ない	
	配分交通量の	場合その他(
	推計手法	その他(Q-V式と転換率式の組合せ)	
		各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定	
		採用理由を記載	
		最終配分の速度	
		採用理由を記載	
	速度設定の		
	考え方	その他(最終配分でQmaxを超える場合、実態に即した速度で補正)	

(3)

(0)			項目		チェック欄					
		考慮しない								
		考慮する								
			面的に考慮							
便			対象路線のみ考慮							
			採用した休日係数		() %					
	休日交通の 影響	考慮する 場合のみ	休日係数を考慮した理由および採用した	た休日係数の考え	と方を記載					
	交通流推計の	平成15年8	定							
	時点以外の 便益の算定	その他 ()						
		費用便益分								
益		独自に設定し								
の算定	車種別時間 価値原単位	算出根拠を添								
		費用便益分								
		独自に設定し								
	車種別走行 経費原単位	算出根拠を添付すること								
	交通事故減少	中央分離帯	の有無を考慮							
	便益算定	中央分離帯								
	時間短縮·費用減	考慮しない								
		考慮する								
	少・事故減少以外	(考慮の場合、算出根拠を添付すること)								
	その他									
		詳細事業計								
- 書		標準投資パタ								
費	事業費	その他()							
用		費用便益分								
の 算		事務所等の								
	維持管理費	その他()						
定	雪寒費	積雪地域また								
	その他									
	その他 上記のほか、B/Cの)算定にあたっ	っての問題点があれば、記述。							
[
[
<u> </u>										
<u> </u>										

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 一般国道(直轄

箇所名:一般国道41号 大沢野拡幅

単価(億円) 単純価値(億円 延長(km) 0.30 2.1 0.63 事業費(億円) 拒価値 現在価値 割戻率 維持修繕費(億円) 年次 年度 単純価値 単純価値 | 現在価値 -15年目 S 60 2.3699 0.1 0.2 0.0 0.0 -14年目 2.2788 0.0 61 0.8 0.0 -13年目 62 2.1911 0.1 0.2 0.0 0.0 2.1068 -12年目 63 0.5 1.1 0.0 0.0 -11年目 2.0258 0.5 0.0 1.0 0.0 Н 1 -10年目 2 0.0 1.9479 0.3 0.6 0.0 Н 1.8730 -9年目 3 0.7 1.3 0.0 0.0 Н -8年日 Н 4 1.8009 4.3 7.7 0.0 0.0 -7年日 1.9 Н 5 1.7317 3.3 0.0 0.0 12.3 -6年目 Н 6 1.6651 20.5 0.0 0.0 -5年目 1.6010 12.1 19.4 0.0 0.0 Н 8 -4年目 Н 1.5395 14.0 21.6 0.0 0.0 9 -3年目 1.4802 Н 19.0 28.1 0.0 0.0 10 -2年目 Н 1.4233 31.9 45.4 0.0 0.0 -1年目 17.0 Н 11 1.3686 12.4 0.0 0.0 供用開始年次 12 6.4 1.3159 8.4 8.0 Н 0.6 1年日 13 1.2653 0.6 0.8 0.6 Н 0.8 2年日 Н 14 1.2167 0.0 0.0 0.6 8.0 3年目 Н 15 1.1699 0.0 0.0 0.6 0.7 4年日 Н 16 1.1249 0.0 0.0 0.6 0.7 0.6 5年日 Н 17 1.0816 0.0 0.0 0.7 6年目 Н 18 1.0400 0.0 0.0 0.6 0.7 7年目 19 Н 1.0000 0.0 0.0 0.6 0.6 20 0.6 8年目 0.0 0.0 Н 0.9615 0.6 9年日 21 0.9246 0.0 0.0 0.6 0.6 Н 10年日 Н 22 0.8890 0.0 0.0 0.6 0.6 11年日 23 Н 0.8548 0.0 0.0 0.6 0.5 12年目 0.5 Н 24 0.8219 0.0 0.0 0.6 13年目 25 0.7903 0.5 Н 0.0 0.0 0.6 14年日 26 0.7599 0.0 0.0 0.6 0.5 Н 15年目 Н 27 0.7307 0.0 0.0 0.6 0.5 16年目 Н 28 0.7026 0.0 0.0 0.6 0.4 17年目 0.4 Н 29 0.6756 0.0 0.0 0.6 18年日 30 0.6496 0.0 0.0 0.6 0.4 Н 0.6246 19年日 31 0.0 0.0 0.6 0.4 Н 20年日 Н 32 0.6006 0.0 0.0 0.6 0.4 21年日 Н 33 0.5775 0.0 0.0 0.6 0.4 0.3 22年目 Н 34 0.5553 0.0 0.0 0.6 0.6 23年目 35 0.5339 0.0 0.0 0.3 Н 24年目 Н 36 0.5134 0.0 0.0 0.6 0.3 25年目 37 Н 0.4936 0.0 0.0 0.6 0.3 26年目 38 0.4746 0.0 0.0 0.6 0.3 Н 27年日 Н 39 0.4564 0.0 0.0 0.6 0.3 28年目 40 0.4388 0.0 0.3 Н 0.0 0.6 29年目 41 0.4220 0.0 0.0 0.6 0.3 Н 30年目 Н 42 0.4057 0.0 0.0 0.6 0.3 31年目 Н 43 0.3901 0.0 0.0 0.6 0.2 32年日 44 0.3751 0.0 0.0 0.6 0.2 Н 33年目 Н 45 0.3607 0.0 0.0 0.6 0.2 34年目 46 Н 0.3468 0.0 0.0 0.6 0.2 35年目 47 0.2 Н 0.3335 0.0 0.0 0.6 48 0.3207 0.2 36年目 Н 0.0 0.0 0.6 37年目 Н 49 0.3083 0.0 0.0 0.2 0.6 38年日 Н 50 0.2965 0.0 0.0 0.6 0.2 39年日 Н 51 0.2851 0.0 -12.1 0.6 0.2 117.9 166.2 17.0 25.1

117.9

25.1

単純事業費計

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3)維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:一般国道41号 大沢野拡幅

文皿の死亡		. J. 7C 2					固川石:一阪		(7/(工) 7/4/田									l .		合	計
	年度	年度 総走行台キロの年次別伸び率		伸び率	割引率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)			(億円)	
	(基準年)		(北陸ブロック)								現在価値						現在価値		現在価値	便益合計	現在価値
年次	H19	乗用車類	貨物車類	全 車	(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	① 計	①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	② 計	(A) × 2	3	3×(A)	(1)~(3)	割戻率4%
供用開始年次	H 12	1.01083	0.99607	1.00599	1.3159	11.2	0.0	1.5	1.8	14.5	19.1	0.3	0.0	0.1	0.0	0.5	0.6	0.4	0.5	15.3	20.2
1年目	H 13	1.01071	0.99606	1.00596	1.2653	11.4	0.0	1.4	1.8	14.6	18.5	0.3	0.0	0.1	0.0	0.5	0.6	0.4	0.5	15.5	19.6
2年目	H 14	1.01060	0.99604	1.00592	1.2167	11.5	0.0	1.4	1.8	14.7		0.4	0.0	0.1		0.5	0.6	0.1	0.5	15.6	
3年目	H 15	1.01049	0.99603	1.00589	1.1699	11.6	0.0	1.4	1.8	14.8		0.4	0.0	0.1		0.5	0.5	0.4	0.5	15.7	
4年目	H 16	1.01038	0.99601	1.00585	1.1249	11.7	0.0	1.4	1.8	14.9		0.4	0.0	0.1		0.5	0.5	0.4	0.4	15.8	
5年目	H 17	1.01027	0.99599	1.00582	1.0816	11.9	0.0	1.4	1.8	15.0	16.3	0.4	0.0	0.1		0.5	0.5		0.4	15.9	–
6年目	H 18	1.01017	0.99598	1.00579	1.0400	12.0	0.0	1.4	1.8	15.2	15.8	0.4	0.0	0.1		0.5	0.5	0.4	0.4	16.0	
7年目	H 19	1.01007	0.99596	1.00575	1.0000	12.1	0.0	1.4	1.8	15.3	15.3	0.4	0.0	0.1		0.5	0.5	0.4	0.4	16.1	16.1
8年目 9年目	H 20	1.00997	0.99595	1.00572	0.9615 0.9246	12.2	0.0	1.4 1.4	1.7 1.7	15.4	14.8 14.3	0.4	0.0	0.1		0.5	0.5	0.4 0.4	0.4	16.2 16.4	
9年日	H 21 H 22	1.00987 1.00507	0.99593 0.99728	1.00569 1.00276	0.9246	12.3 12.4	0.0	1.4	1.7	15.5 15.5		0.4	0.0	0.1		0.5 0.5	0.4		0.4	16.4	
10年日	H 23	1.00507	0.99728	1.00276	0.8548	12.4	0.0	1.4	1.7	15.6		0.4	0.0	0.1		0.5	0.4	0.4	0.4	16.4	
12年目	H 24	1.00505	0.99727	1.00273	0.8348	12.5	0.0	1.4	1.7	15.6		0.4	0.0	0.1		0.5	0.4	0.4	0.3	16.5	
13年日	H 25	1.00502	0.99726	1.00274	0.8219	12.5	0.0	1.4	1.7	15.7		0.4	0.0	0.1		0.5	0.4		0.3	16.5	
14年目	<u>п 23</u> Н 26	1.00300	0.99725	1.00274	0.7599	12.6	0.0	1.4	1.7	15.7	12.4	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.4	0.4	0.3	16.6	
15年目	H 27	1.00497	0.99724	1.00273	0.7399	12.7	0.0	1.4	1.7	15.8		0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.4	0.4	0.3	16.7	
16年目	H 28	1.00493	0.99723	1.00272	0.7026	12.7	0.0	1.4	1.7	15.9		0.4	0.0	0.1		0.5	0.4	0.4	0.3	16.8	
17年目	H 29	1.00490	0.99723	1.00271	0.6756	12.8	0.0	1.4	1.7	15.9	10.7	0.4	0.0	0.1		0.5	0.3	0.4	0.3	16.8	
18年目	H 30	1.00487	0.99722	1.00271	0.6496	12.9	0.0	1.4	1.7	16.0	10.4	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.4	0.3	16.9	
19年目	H 31	1.00485	0.99721	1.00269	0.6246	13.0	0.0	1.4	1.7	16.0	10.0	0.4	0.0	0.1		0.5	0.3	0.4	0.3	16.9	
20年目	H 32	0.99952	0.99494	0.99824	0.6006	13.0	0.0	1.4	1.7	16.0	9.6	0.4	0.0	0.1		0.5	0.3	0.4	0.2	16.9	
21年目	H 33	0.99952	0.99491	0.99823	0.5775	12.9	0.0	1.4	1.7	16.0	9.2	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.4	0.2	16.9	9.7
22年目	H 34	0.99952	0.99489	0.99823	0.5553	12.9	0.0	1.3	1.7	15.9	8.9	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.4	0.2	16.9	9.4
23年目	H 35	0.99952	0.99486	0.99823	0.5339	12.9	0.0	1.3	1.7	15.9	8.5	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.4	0.2	16.8	
24年目	H 36	0.99952	0.99483	0.99822	0.5134	12.9	0.0	1.3	1.6	15.9	8.2	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.3	0.4	0.2	16.8	8.6
25年目	H 37	0.99952	0.99481	0.99822	0.4936	12.9	0.0	1.3	1.6	15.9	7.8	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.2	0.4	0.2	16.8	8.3
26年目	H 38	0.99952	0.99478	0.99822	0.4746	12.9	0.0	1.3	1.6	15.9	7.5	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.2	0.4	0.2	16.8	
27年目	H 39	0.99952	0.99475	0.99821	0.4564	12.9	0.0	1.3	1.6	15.8	7.2	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5	0.2	0.4	0.2	16.7	
28年目	H 40	0.99952	0.99472	0.99821	0.4388	12.9	0.0	1.3	1.6	15.8	6.9	0.4	0.0	0.1		0.5	0.2	0.4	0.2	16.7	
29年目	H 41	0.99952	0.99470	0.99821	0.4220	12.9	0.0	1.3	1.6	15.8	6.7	0.4	0.0	0.1		0.5	0.2		0.2	16.7	
30年目	H 42	0.99670	0.99508	0.99626	0.4057	12.9	0.0	1.3	1.6	15.7	6.4	0.4	0.0	0.1		0.5	0.2	0.4	0.2	16.6	
31年目	H 43	0.99669	0.99505	0.99625	0.3901	12.8	0.0	1.3	1.6	15.7	6.1	0.4	0.0	0.1		0.5	0.2	0.4	0.2	16.6	
32年目	H 44	0.99668	0.99503	0.99623	0.3751	12.8	0.0	1.3	1.6	15.6		0.4	0.0	0.1		0.5	0.2	0.4	0.2	16.5	
33年目	H 45	0.99667	0.99501	0.99622	0.3607	12.7	0.0	1.3	1.6	15.6	5.6	0.4	0.0	0.1		0.5	0.2		0.1	16.5	
34年目	H 46	0.99666	0.99498	0.99621	0.3468	12.7	0.0	1.3	1.6	15.5		0.4	0.0	0.1		0.5	0.2	0.4	0.1	16.4	
35年目	H 47	0.99665	0.99495	0.99619	0.3335	12.6	0.0	1.3	1.6	15.5	5.2	0.4	0.0	0.1		0.5	0.2	0.4	0.1	16.3	
36年目	H 48	0.99664	0.99493	0.99618	0.3207	12.6	0.0	1.3	1.5	15.4	4.9	0.4	0.0	0.1		0.5	0.2	0.4	0.1	16.3	
37年目	H 49	0.99663	0.99490	0.99616	0.3083	12.6	0.0	1.2	1.5	15.3	4.7	0.4	0.0	0.1		0.5	0.1	0.4	0.1	16.2	
38年目	H 50	0.99661 0.99660	0.99488 0.99485	0.99615	0.2965 0.2851	12.5	0.0	1.2	1.5	15.3	4.5	0.4	0.0	0.1	0.0	0.5 0.5	0.1	0.4	0.1	16.2	
39年目	H 51	0.99060	0.99485	0.99613	U.Z831	12.5		1.2	1.5	15.2	4.3	0.4	0.0	0.1			0.1	0.4	0.1	16.1	4.6
合 計						500.6	0.0	54.0	66.8	621.4	417.7	15.3	0.0	2.7	1.3	19.3	13.0	16.0	10.8	656.8	441.6